
開講科目名：租税法特殊研究（4単位）

開設年次：1年 2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：奥川 哲也

《授業の概要》

【授業の概要】

我が国における経済のグローバル化の発展に伴い、租税法の領域においても国際課税の問題がますます重要性を増してきている。

本講義においては、この分野の研究を目指す学生にとって必要とされる国際課税の各領域につき、非居住者課税制度、外国税額控除制度、租税条約、移転価格課税制度等についての基礎的な理解を深めることを目標とする。又講義にあたっては、最近の国際課税の動向や重要な判例等の紹介も適宜行いながら進めていくこととする。

本講義の講師は現在国際課税の実務にも携わっていることから、最新の実務の動向等も踏まえながら講義を行うことによりこの分野への理解がより深まることを期待するとともに、将来税理士として活躍する場面でもクライアントへの適切なアドバイスに資する内容としたい。

【授業の内容】

国際租税法の総論 国際租税法の目的、国際租税法の法源、国際租税法の体系等

非居住者に対する課税制度 国内源泉所得概要、我が国の国内法における非居住者課税、我が国の国内法における外国法人課税、源泉徴収制度等

外国税額控除制度 国際的二重課税の問題と対応策、我が国の外国税額控除制度、間接外国税額控除制度、みなし外国税額控除制度等

外国子会社受取配当益金不算入制度

租税条約（総論） 租税条約の意義、租税条約の歴史的経緯、租税条約の適用範囲

租税条約（各論） 事業所得、特殊関連企業、投資所得、人的役務提供所得

不動産所得、譲渡所得、明示なき所得、国際的二重課税の排除、無差別待遇、実施特例法等

タックス・ヘイブン対策税制 タックス・ヘイブン税制概要、我が国のタックス・ヘイブン対策税制の概要

移転価格税制 移転価格税制概要、我が国の移転価格税制の概要と特徴、独立企業間価格、移転価格税制適用に係る最近の問題、二重課税への対応、移転価格税制の執行の円滑化等

過少資本税制 過少資本の問題、過少資本規制と租税条約、我が国の過少資本税制等

国際的租税回避 国際的租税回避とは、国際的租税回避の態様、国際的租税回避への対応、

B E P S 等

【評価方法】

講義出席（出席率70%以上は必須）と期末時レポートにより総合的に評価を行う

（概ねの配点ウエイトは、出席：レポート結果を80%：20%とする）

《テキスト》

本庄資他2名『国際租税法 - 概論 - 』大蔵財務協会（2012年）

《参考書》

金子宏『租税法（第19版）』弘文堂（2014年）

水野忠恒他4名『租税判例百選（第5版）』有斐閣

本庄資『国際課税における重要な課税原則の再検討 上巻』日本租税研究協会（2014年）

その他必要に応じて指示する

